



# TIMES

クサマ工業通信



## ご挨拶

日増しに寒くなってまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。先日初めてハーフマラソンに出場しました。初舞台は東海ハーフマラソン。キャッチフレーズは『鉄とランのまち東海市を走ろう』でした。

弊社のお客様が多く所在する愛知県東海市。納品ではいつも訪れていましたが街中を走るの初めてでした。4000名を超える参加者と共に信号も気にせず車道を走り、沿道からは多くの声援をいただき、ボランティアや運営の皆様をサポートしてもらい気持ちよく走ることが出来ました。タイムは2時間00分28秒。来年は2時間を切れるよう練習と減量(だいぶ体が重くなってしまったため)に励みたいと思います。(草間)



## 門形マシニングセンタの紹介

こんにちは！営業・購買を担当しています、畑です！最近弊社で新しく導入した「門形マシニングセンタ」をご紹介します。2022年夏発行したニュースレターでは機械の仕様についてお知らせしましたが、今回は門形マシニングセンタでどのような加工が可能なのか説明したいと思います。

### ■ほかのマシンと違いどのような加工が可能なのか？

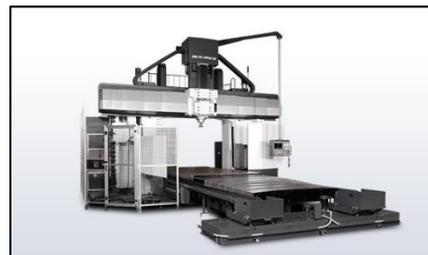
門形マシニングセンタは、テーブルが広く、加工品が門をくぐるようにして動かすことが可能です。そのため、通常のマシニングセンタには載らない大型の製品を加工するのに適しています。今までは弊社で一番大きいテーブル面積を持つマシンでも1000×1200でしたが、門形マシニングセンタは1500×3000もあり、面積比では3.75倍もあります。

また門形マシニングセンタは、加工品を固定したままテーブル接地面以外の5面の加工が一度のセッティングで可能です。立体マシニングセンタでは工具を取り付ける主軸が回転するだけで、角度を変えることができず、複雑な加工は一面しかできません。ほかの面を加工するには、加工品を固定しなおす必要があります。

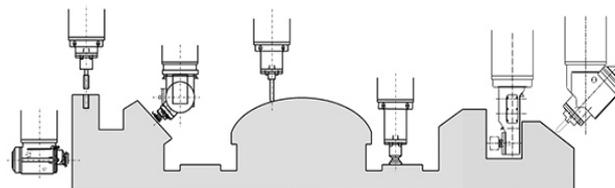
しかし、門形マシニングセンタは加工品を固定したまま主軸を様々な方向に変えることができます。そのため、加工品の向きを変える手間が少なく、よりスピーディーな加工が可能です。また、固定しなおさないため、セッティングによるずれが起こらず、より精度よく加工できます。

### ■実際に門形マシニングセンタで加工した製品について

最近で門形マシニングセンタが活躍した加工は、全長が2mを超えるもので、その両端を同時加工して平行を出す必要があった製品です。この長さで両端面百分台の平行が出るように加工するのは、今までは弊社の機械では加工が困難でした。しかし、門形マシニングを導入したことによりこのように全長が長い製品の加工に威力を発揮するのが門形マシニングセンタです。今までできなかった加工が可能になり、より多くのお客様のご要望にお応えできるといって嬉しく思います。



型式	オークマ MCR-A5C II
移動量	X3200×Y2600×Z800
テーブル面	1500×3000



門形マシニングセンタで可能な5面加工

引用元：オークマ株式会社5面加工門形マシニングセンタ